Sagabi News 95

95

NEWS

最新の情報をお届けします。

大学報告

2025年度 嵐芸祭開催報告

2025年10月18日(土)・19日(日)の2日間にわたり、嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学の学園祭「嵐芸祭」を開催しました。
コロナ禍を経験した後の一昨年度は「解放・開放」、それに続く昨年度は「新日常」というテーマを掲げて開催しました。それらを経て決定した今年度の「灯す」というテーマは、私たち嵯峨美生がこれからどのように歩んでいくのかを示すものだったのではないでしょうか。
今年度は、恒例の模擬店や展示の出展に加え、学内公募展「サガビ公募展2025 be light up」では来場者による一般投票を実施。本学の竹造サークルと連携して制作した三毛猫のオブジェは、手のひらに座る形で写真撮影ができる仕様とし、多くの方に楽しんでいただきました。
このほか、来場者が参加できる企画も多く、在学生と来場者が一体となって学園祭に明かりを「灯す」ような温かい時間となりました。
ステージイベントでは、学生有志団体のほか、外部アーティストユニット(四季に栞、三四少女、No Fun、grating hunny)の皆さま、そして吉本興業所属の芸人(丸亀じゃんご、おたまじゃくし中西、ダブルアート)の方々をお招きし、会場を大いに盛り上げていただきました。
こうして多くの方々のご協力とご支援のもと、今年度の嵐芸祭を無事開催することができました。開催にご尽力いただいた皆さまに、この場を借りて心より御礼申し上げます。
(学園祭実行委員会)

2025年度 前期卒業式報告

9月25日(木)に、嵯峨美術大学デザイン学科1名、および嵯峨美術短期大学美術学科5名の卒業式を挙行し、担当教員らの出席のもと、江村学長から学位記が授与されました。
学長からは、「私たちには美術という“技”がある。美術には喜びを生み出す力がある。美術という技はあらゆる場面で有効であり、美への探求はどのような形でも続いていく。今後も一瞬一瞬を楽しみながら精一杯生きていってほしい」との言葉が卒業生へ贈られました。
(管理運営グループ)

TOPICS

話題の出来事をお届けします。

社会連携事業

京都市動物園との連携事業「秋の夜間開園 アニマルフェスティバル」を実施しました

2025年10月11日(土)、12日(日)に京都市動物園と本学の学生が連携イベントを実施しました。大学からグラフィックデザイン領域とキャラクターデザイン領域、短期大学からは暮らしのグッズデザイン領域とコミックアート領域の全4領域が参加しました。グラフィックデザイン領域はアイデアが光る3つのイベントを企画。再整備のため取り壊し予定のサル島を舞台に、子どもたちが動物を模したダンスを踊るイベントが注目を集めました。キャラクターデザイン領域は限定マップの配布やスタンプイベント、パネル展示を企画。コミックアート領域はタトゥーシール制作のワークショップを実施。また、キャラクターデザイン領域とコミックアート領域の合同運営による謎解きゲームも実施しました。暮らしのグッズデザイン領域は3種の動物に変身できる撮影イベントを企画。夜間は動物をモチーフにデザインした照明でライトアップし、園内全体を華やかに彩りました。この度の連携イベントを通して企画から当日の運営までを一貫して責任感を持ってやり遂げた経験は、学生にとって大きな糧となることでしょう。

(芸術学部 デザイン学科 キャラクターデザイン領域
ミカヅキ講師)

展覧会報告

附属ギャラリー「逢沢和子 日本画遺作展 1975-2010」

嵯峨美術短期大学卒業生で日本画家として活躍された逢沢和子氏(2019年没)の遺作展「逢沢和子 日本画遺作展 1975-2010」が、2025年11月5日(水)から11月22日(土)まで、本学附属ギャラリー〈アートスペース嵯峨〉にて開催されました。

逢沢氏は、嵯峨美術短期大学卒業後、「我が日本画」を追求し、アクリルなど多様な新素材を用いた実験的な表現に挑戦され、日本画の新たな可能性を切り拓こうと尽力されました。今回その歩みをたどる約40点の作品が展示され、多くの来場者の関心を集めました。本展は、逢沢氏のご逝去後、ご遺族の「作品を母校に里帰りさせたい」という思いを受けて実現したものです。

会期中には、日本画を専攻する在学生も多数来場し、先輩作家による多様な表現や、その挑戦に心を動かされ、深い感銘を受けていました。

本展は時代を越えて卒業生と在学生をつなぐ貴重な交流の場となり、逢沢氏が生涯をかけて探求した日本画の精神と創造の軌跡が、これからの世代へと受け継がれていくことを感じさせる機会となりました。

(社会連携・研究支援グループ)

TOPICS

話題の出来事をお届けします。

社会連携事業

2025年度 第3回四条通地下道アート展「Art Under the Shijo」の作品展示報告

京都市歩くまち京都推進室が主催する「四条通地下道アート展 Art Under the Shijo」が、令和7年11月5日（水）から12月21日（日）まで開催。

本学からは、嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学の2年生による学生有志チーム「YuYuYou」が見事最終6チームの一つとして選出され、四条通地下道12番出口付近の壁面デザインを担当しました。

展示テーマは「ウインドー京散歩」。学生たちは「京都の自然を詰め込む」「地下道を拡張する」という二つのキーワードを軸に、地下道の壁に“窓”を設け、その奥に広がるもうひとつの京都の風景を描き出しました。完成した作品は、京都の自然を象徴する嵐山の竹林や渡月橋を中心に、たなびく雲、扇子、鞠など京都ならではの意匠をちりばめた構成となっており、極楽浄土のように明るく穏やかな雰囲気の中に、学生たちの自由な発想と美的探求心が息づいています。自然の美しさと遊び心を融合させることで、地下道を歩く人々が思わず立ち止まり、微笑むようなデザインでアートと街とが調和した空間となりました。

（社会連携・研究支援グループ）

参加メンバー

- 嵯峨美術大学 デザイン学科 染織・テキスタイル領域2年次生 伊藤 ありん（代表）
- 嵯峨美術大学 造形学科 日本画・古画領域2年次生 進藤 優子
- 嵯峨美術大学 造形学科 油画・版画領域2年次生 勝浦 菜々美
- 嵯峨美術大学 造形学科 油画・版画領域2年次生 中島 結菜
- 嵯峨美術大学 デザイン学科 イラストレーション領域2年次生 井伊 音巴
- 嵯峨美術大学 デザイン学科 イラストレーション領域2年次生 石津 ゆずか
- 嵯峨美術短期大学 美術学科 イラストレーション領域2年次生 藤本 真穂
- 嵯峨美術短期大学 美術学科 イラストレーション領域2年次生 綾 琴乃
- 嵯峨美術短期大学 美術学科 洋画・現代アート領域2年次生 野口 知夏

（計9名）

TOPICS

話題の出来事をお届けします。

告知

「第54回制作展」を開催します

美大にとっては年に一度、全学を挙げて行う一大イベント「制作展」。今回で54回目を迎えます。今年度は2026年2月5日（木）～8日（日）の期間、「京都市京セラ美術館」にて卒業・修了年次生の作品を、本学にて進級生の作品を展示し、日ごろの学修の成果をご来場の皆さまにご披露いたします。それぞれの専門分野で知識や技術を身につけるべく日々研鑽を積み、感性を磨いてきた学生たちの展覧会です。ぜひ足をお運びください。会期が近づきましたら、本学Webサイトや京都市京セラ美術館のWebサイトの情報等をご確認いただきますようお願いいたします。

（制作展委員会）

※画像は昨年の会場の様子

展覧会情報

加納俊輔／嵯峨美術大学 造形学科 油画・版画領域 専任講師
Sapporo Parallel Museum 2026
(サッポロ・パラレル・ミュージアム 2026)

会　期：2026年1月31日(土)～2月8日(日)
時　間：11:00～19:00
会　場：札幌駅前通の7つの会場とオンラインでの展示
①札幌ステラプレイス(札幌駅総合開発)
②大丸札幌店
③D-LIFEPLACE 札幌
④NOASIS 3.4 日本生命札幌ビル
⑤sitatte sapporo
⑥赤れんがテラス
⑦チ・カ・ホ 札幌駅前通地下歩行空間(憩いの空間)
⑧Webサイト

※会期・内容は変更する場合があります。休館日等は事前にお確かめください。

行事予定 Jan.2026 — Apr.2026

1月	24日(土)	通常授業終了日
	26日(月)	後期授業予備日
	～	
	30日(金)	一般選抜（前期）
	～	
	31日(土)	
2月	5日(木)	第54回制作展 ※8日(日)は制作展見学会
	～	
	8日(日)	
	10日(火)	後期集中授業
	～	
	17日(火)	
	19日(木)	大学院選抜（後期） 3年次編入学選抜（後期） 短期大学専攻科選抜（後期）
	28日(土)	一般選抜（後期）
3月	1日(日)	スカラシップ選抜（後期）
	19日(木)	卒業・修了式
	22日(日)	オープンキャンパス
4月	1日(水)	入学式

※行事は都合により日程や内容を変更する場合があります。

今号の色 錫色

錫色（すずいろ）とは、無彩色の銀色に近い明るい鼠色のことです。錫は銀白色の金属。『手鑑模様節用』の色譜に、「錫色。又当世ぎん鼠といふ」とあるように『銀鼠』は別名。また、『薄雲鼠』『絹鼠』『銀灰色』といった色名も同色です。天皇が二親等以内の親族の服喪の際に着用する袍を錫紵（しゃくじょ）といわれるように、錫色は鈍色の高級な表現となっています。

KYOTO SAGA UNIVERSITY OF ARTS
学校法人 大覚寺学園
嵯峨美術大学
嵯峨美術短期大学

公式 Web サイト
https://www.kyoto-saga.ac.jp

公式 Facebook　公式 X　公式 Instagram　公式 YouTube

〒616-8362 京都市右京区嵯峨五島町 1 番地
TEL：075-864-7858（代）　FAX：075-881-7133　E-MAIL：info@kyoto-saga.ac.jp
嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学広報 第95号2025年12月15日発行　編集：嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学 入学広報グループ
発行元：学校法人大覚寺学園 嵯峨美術大学・嵯峨美術短期大学